

# パナソニック メディコム と RS\_Baseの連携

## 1. RS\_Base用連携ツール（パナソニックメディコム中国株式会社の製品です）

- ・ ホームページ：<http://panasonic.co.jp/phc/phcmcg/products/mcrsbcon.html>からdownloadできます。

### 1) McRSBcon — 患者情報、病名、診療内容を RS\_Baseに取り込むことができます。

- ・ 患者情報—指定した間隔で通信して新患を取り込みます。導入時一括取り込みも可能。
- ・ 病名 — 期間指定で手動取り込みします。
- ・ 診療内容—期間指定で手動取り込みします。

RS\_Baseの基本情報 ※ McRSBconで【例】c:\¥medicom にデータを出力する設定をした場合

(64) BOX受付の(DC)を血液読み込みにする(labo) no BOX受付の患者情報をname.csvに登録する yes

BOX受け付け用に、IDuke.csv,Syoho.csvを出力するホルダー(C:\¥ORCA ¥¥server¥ORCA など)

(213) c:\¥medicom

## 2. RS\_Base用連携ツール McRSBcon の設定



### ・ ツール → オプション — 通信設定タブ

- ・ ■ 通信間隔を設定（新患自動取り込み）
- ・ ■ 起動時初期値  自動取込

### ・ ツール → オプション — ファイル出力設定

- ・ ■ 受信ファイル指定（患者基本情報）c:\¥DRS（フォルダ作成してください）
- ・ ■ 受信ファイル指定（病名診療内容情報）c:\¥medicom（フォルダ作成してください）

※ システム環境に合わせて詳細設定をお願いします。

- ⇒ 病名、診療内容は  随時指定取込にして期間指定を行い取り込んでください。
- ⇒ 患者情報一括取り込みは、 導入時一括取込にして期間指定を行い取り込んでください。

## 2. RS\_BaseとMcRSBconを連携した一般的な運用

- ・ 新患情報を入力すると  自動読込設定に設定していればRS\_Baseの[B受]を立ち上げておけば設定した秒数で自動でリロードを行い、RS\_Baseにデータを取り込みます。
- ・ 病名、診療情報の出力は、McRSBconで診療終了後  随時指定取込に変更して日時を設定し  を押しします。



- ・ McRSBconで 病名、診療情報を出力してRS\_Baseに取り込む場合も上記と同じです。  
⇒ RS\_Baseの表示は個人画面のsideshow、全情報画面でご覧いただけます。



※ デスクトップにBOX受付のショートカットを作成しておくくと便利です。